

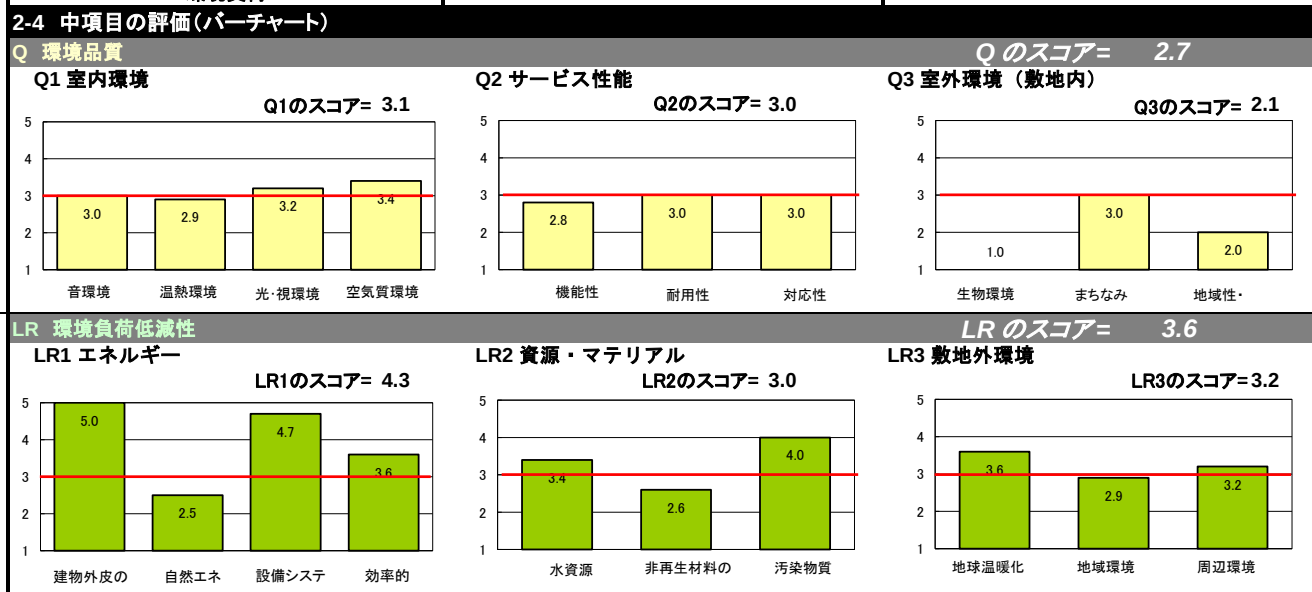
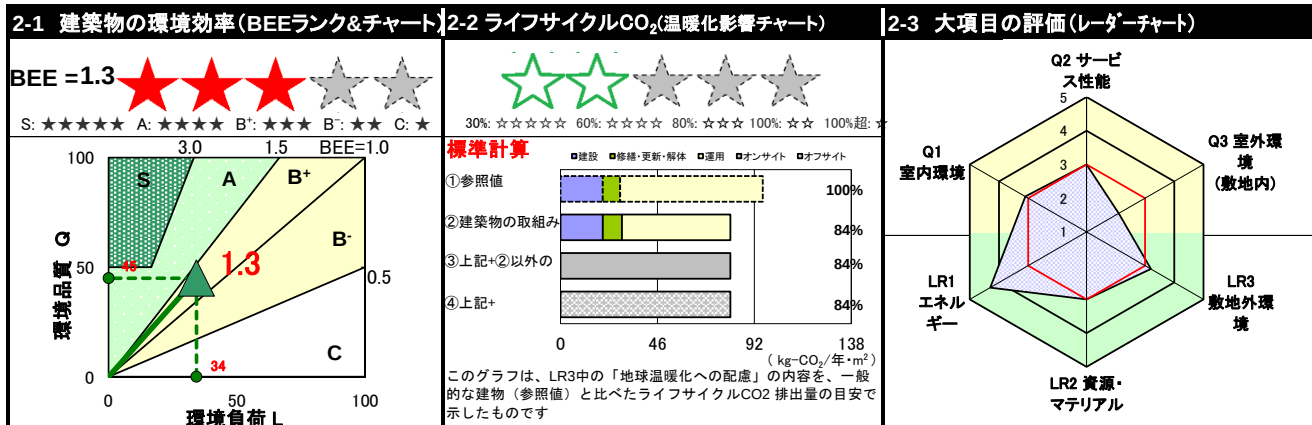
CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.02)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)みなと明石ビルPJ 新築工事	階数	地上13F	
建設地	兵庫県明石市本町2丁目1-19,1-20	構造	RC造	
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	162 人	
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)	
建物用途	物販店,集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2025年12月 予定	評価の実施日	2023年10月26日	
敷地面積	966 m ²	作成者	環境システム設計 穂本沙織	
建築面積	599 m ²	確認日	2023年11月30日	
延床面積	5,395 m ²	確認者	環境システム設計 神川あかね	



ください



3 設計上の配慮事項			その他
総合 適切な照明計画や空間にゆとりを持つことで快適に生活・利用できる設計となっている。また、建物全体の一次エネルギー消費量を抑えた地球温暖化や環境にも配慮した建物である。			
Q1 室内環境 住宅の開口部は遮音性能T-2、カーテン・底による屋光制御により快適な室内環境を確保している。また、建物全体において内装材はF☆☆☆☆を使用し、化学汚染物質の発生にくい安全な室内環境を確保している。	Q2 サービス性能 建物のコンセプトや求められる機能を明確化し、魅力的で居心地の良い空間づくりをしている。	Q3 室外環境(敷地内) 防犯カメラ・夜間照明の設置により防犯性を向上させている。また、設備機器は道路から見えない部分に設置し、周囲からの見え方に配慮している。	
LR1 エネルギー 設備システムの効率化を図っており、BEIが非住宅部分0.77、住宅部分0.70を実現している。	LR2 資源・マテリアル 大気は節水型を採用し水資源保護に配慮している。また、躯体と仕上げ材が容易に分別可能で、部材の再生利用への取組みを行っている。	LR3 敷地外環境 照明計画は適切な照度や照明範囲となるように設計されている。また、上方や周辺への漏れの少ない照明器具を採用するなど、周囲への光害対策を行っている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される